

【腸内細菌】と、腫瘍を攻撃する【フコイダン】

人間の腸の長さは、約 15メートルで、腸内にはおよそ 1,000 種類の細菌が棲息しています。又、菌の数は、なんと 100 兆臈個で、重さは約 1 キロ。私達はこのような菌と一緒に生活しています。

腸内細菌には、腸の働きを活発にする「善玉菌」のビフィズス菌や、大腸菌のように体外では、病気の原因になる「悪玉菌」、どちらでもない「日和見菌」が棲息しています。このバランスが崩れると、お腹が痛くなったり、下痢や便秘になりますが、いつもお腹が痛い方は、腸内で善玉菌が働かなくなり、細菌のバランスが崩れているのが原因です。

近年、健康な方の便(ウンコ)から、善玉菌等を取り出し、これを培養し、体の悪い人の腸に移植し、善玉菌を増殖すると、80~90%の方が、健康な身体を取り戻す治療法が開発されました。

ハマシヨクの新商品、乳酸菌で醗酵した「もずくのチカラ酢」は、従来のモズクのエキスに、乳酸菌を加えて、高分子フコイタンを、「低分子フコイタン」に分解し、人が生きる為に絶対に必要な「アミノ酸」の全成分を含んでおり、腸の働きを活発にすると共に、便秘を防ぐ作用があります。

更に、「善玉菌」と「低分子フコイタン」には、次のような作用や効果があります。

1、腸内で、善玉菌の働きが活発にして、食物は良く消化され、吸収が良くなる。

逆に、腸内で善玉菌の働きが悪い時は、悪玉菌が増えて、便秘になります。

(食べカスは大腸に送られ、適当な硬さの便となり、肛門から排泄)

2、水分と「低分子フコイタン」は、大腸で血液に吸収され、腎臓へ。

(水分は、腎臓でろ過され、不純物は尿となって排泄)

3、「低分子フコイタン」は、腎臓から静脈にて心臓へ。

4、心臓に送られた「低分子フコイタン」は、動脈にて全身の臓器や、各細胞へ。

(低分子フコイタンは、血管内や各臓器にある、異物等を攻撃！)

6、「低分子フコイタン」は臓器等の腫瘍に、血液を送る血管を作らせない作用あり！

(臓器内の腫瘍等は、血液を栄養にして増殖します)

注、資料は、関係機関の論文等から抜粋し、弊社の実験の結果を掲載しています。

有限会社ハマシヨク 高津原 忠